

## 「大気汚染と気候変動対策フォーラム」

### 大気汚染と気候変動への統合的対応：モニタリングデータ、日本の環境技術、財政支援

概要：大気汚染と気候変動への統合的対応：技術革新と国際協力

本セミナーは、ステークホルダーの協働による大気環境管理の強化を目的とする。環境省が推進する次世代型大気質モニタリング構想や、衛星・地上観測・低コストセンサーを用いた政策支援の最新動向を紹介、また、CO<sub>2</sub>削減とPM2.5抑制を両立するJCMの活用、越境汚染対策や南南協力、国際知見共有による連携強化、日本の環境技術の海外展開などについても議論し、アジアの共通課題解決への貢献を目指すもの。

目的：

- ・ 衛星・地上観測・低コストセンサーを統合した 高精度・リアルタイム情報による政策支援の可能性を検討する
- ・ CO<sub>2</sub>排出削減とPM2.5抑制を同時達成する施策コベネフィットとしてのJCM推進を図る
- ・ アジア域内の越境大気汚染対策強化と南南協力の展望を共有する
- ・ 国際的な知見共有を通じた地域間協力の促進とグローバル課題解決への貢献
- ・ 日本の環境技術の国際展開を推進し、持続可能な開発に寄与

対象：

大気汚染及び気候変動対策にかかる政策立案者、研究者、環境技術にかかる民間企業関係者

日時：

2026年2月17日(火) セミナー : 9時15分～18時20分(受付:8時45分～9時15分)  
レセプション : 18時30分～20時30分

会場：

高輪ゲートウェイ コンベンションセンター Hall C1(東京都港区高輪 2-21-2)

プログラム案 ※タイトルは現時点のものであり、変更になる可能性あり

時間		議題等
8:45 - 9:15		受付
9:15 - 9:25	0-1	開会・開会挨拶 泉 知行(環境省 水・大気環境局 環境管理課) 大原 利真(アジア大気汚染研究センター) Ms. Yujeong Kim(国連環境計画アジア・太平洋事務所, 東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)事務局)
9:25 - 9:30	0-2	写真撮影
<b>セッション1</b>		
9:30 - 9:35	1-0 ●	「東アジアにおける次世代型大気汚染モニタリング・評価システム」 モデレーター: 佐瀬 裕之(アジア大気汚染研究センター)
9:35 - 9:55	1-1 ●	次世代型大気汚染モニタリング・評価システム 大原 利真(アジア大気汚染研究センター)
9:55 - 10:15	1-2 ●	大気質モニタリングにおける衛星観測の役割:GOSAT-GW ミッションからの新たなデータ

		谷本 浩志(国立環境研究所)
10:15 - 10:35	1-3 	<b>都市汚染メカニズム解明のための LCS モニタリング</b> 佐藤 啓市(アジア大気汚染研究センター)
10:35 - 11:05	1-4 	パネルディスカッション
<b>セッション2</b>		
11:05 - 11:10	2-0 	<b>「大気汚染と気候変動対策にかかる公的支援」</b> モデレーター: 安田 弓(環境省 水・大気環境局 環境管理課)
11:10 - 11:20	2-1 	<b>令和 8 年度シナジー型 JCM 実現可能性調査公募について</b> 中城 奈緒(環境省 水・大気環境局 環境管理課)
11:20 - 11:30	2-2 	<b>JICA による大気汚染対策支援</b> 瀧口 博明(国際協力機構)
11:30 - 11:40	2-3 	<b>クリーン・エア・アジアの JCM プロジェクト形成調査について</b> Ms. Dang Casanova(クリーン・エア・アジア)
11:40 - 11:50	2-4 	<b>アジア開発銀行の JCM 日本基金について</b> 村山 賢洋(アジア開発銀行)
11:50 - 12:10	2-5	パネルディスカッション
12:10 - 13:20		休憩(昼食は各自でお楽しみください)
<b>セッション3</b>		
13:20 - 13:25	3-0 	<b>「コベネフィットアプローチからシナジー推進へ」</b> モデレーター: TBA
13:25 - 13:40	3-1 	<b>アジア コベネフィットプログラム紹介</b> TBA
13:40 - 13:55	3-2 	<b>令和7年度農業系残渣を原料としたバイオマス固形燃料による石炭燃料代替プロジェクト実現可能性調査</b> 山下 研(アジア大気汚染研究センター) Dr. Le Ngoc Cau(ベトナム気象・水文学・環境・海洋科学研究所(IMHEMS))
13:55 - 14:10	3-3 	<b>令和7年度インドネシア共和国チタルム川における分散型創エネルギー排水処理システムを用いたシナジー型 JCM プロジェクト実現可能性調査</b> 関 香奈子(日本エヌ・ユー・エス株式会社) Mr. Wesley Arfianto (PT. アルタ・エンピロタマ)
14:10 - 14:25	3-4 	<b>令和7年度稲藁固形燃料製造によるインド共和国 JCM プロジェクト実現可能性調査</b> 桑原 文彦(株式会社 数理計画) Ms. Nikita(インド生産性機構)
14:25 - 14:40	3-5 	<b>モンゴル国からの大気汚染と気候変動にかかる JCM プロジェクト案</b> Ms. Otgontsetseg Luvsandash(日本・モンゴル間 JCM 合同委員会事務局) Mr. Eric Erdembileg Tsedev(ナーノボ・グリーンエネルギー・モンゴル LLC)
14:40 - 15:00	3-6 	パネルディスカッション
15:00 - 15:10		休憩
<b>セッション4</b>		
15:10 - 15:15	4-0 	<b>「大気汚染と気候変動にかかるアジア諸国の取組」</b> モデレーター: Ms. Dang Casanova(クリーン・エア・アジア)

15:15 - 15:25	4-1 	<b>ウズベキスタンの課題とプロジェクト提案</b> Dr. Laylo Yakhshiboeva (ウズベキスタン共和国 高等教育・科学・イノベーション省 外国投資誘致・国際協力局)
15:25 - 15:35	4-2 	<b>タイ(チェンライ)の課題とプロジェクト提案</b> Dr. Nion Sirimongkonlertkun (タイ ラジャマンガラ大学・工学部)
15:35 - 15:45	4-3 	<b>バングラディシュの課題とプロジェクト提案</b> Mr. Sidhartha Sankar Kundu (バングラデシュ環境・森林・気候変動省)
15:45 - 15:55	4-4 	<b>インドの課題とプロジェクト提案</b> Ms. Nikita (インド生産性機構 環境・気候アクショングループ)
15:55 - 16:05	4-5 	<b>モンゴルの課題とプロジェクト提案</b> Ms. Undarmaa Khurelbaatar (モンゴル環境・気候変動省)
16:05 - 16:20		休憩
<b>セッション5</b>		
16:20 - 16:25	5-0 	<b>「大気汚染と気候変動にかかる日本の環境技術紹介」</b> モデレーター: 朱 美華 (アジア大気汚染研究センター)
16:25 - 16:35	5-1 	環境技術の紹介 印南 孝裕 (BEMAC 株式会社)
16:35 - 16:45	5-2 	環境技術の紹介 戴 宇強 (ジーエルサイエンス株式会社)
16:45 - 16:55	5-3 	環境技術の紹介 小林剛士 (株式会社堀場製作所)
16:55 - 17:05	5-4 	環境技術の紹介 遠藤 礼子 (株式会社 島津製作所)
17:05 - 17:15	5-5 	環境技術の紹介 東郷 健太郎 (柴田科学株式会社)
17:15 - 17:25	5-6 	環境技術の紹介 能智 将博 (システムエンジニアリング株式会社)
17:25 - 17:45	5-7 	パネルディスカッション
<b>セッション6</b>		
17:45 - 18:15	6-0 	<b>「民間主導の地球規模課題への衛星データ統合的活用」の取組</b> モデレーター: 武藤 康平 (Double Feather Partners)
	6-1 	環境技術の紹介 久世暁彦 (株式会社アクセルスペース)
	6-2 	環境技術の紹介 多田玉青 (株式会社スペースシフト)
	6-3 	環境技術の紹介 宮崎早季 (一般社団法人クロスユー)
18:15 - 18:20	7-0 	閉会挨拶 Ms. Siwaporn Rungsyanon (アジア大気汚染研究センター)